



発行 東京片貝会
責任者 本田秀幸
大田区南久が原2-32-10
電話090-4831-5580

東京片貝会 令和2年新年会御案内

師走の候、皆様には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

早いもので師走、何かと慌ただしい年の瀬でございます。朝晩などは底冷えのする毎日ですが、皆様お変わりございませんか。今回の新年会は、総会と同じ「東京グリーンパレス」にて開催します。多数のご参加をお待ち申し上げます。
*例年新年会場の新潟県人会館は建替中で、新会館のオープンは来年秋が予定されています。

日時 令和2年1月26日(日)
午後一時
(正午より受付)
会場 東京グリーンパレス
東京都千代田区二番町二
電話 03・5210・4600
会費 八、000円



お願い
返信は1月15日(水)までお願いします。

60周年記念行事 協賛御礼と報告

実行委員長 芝 強

この度の六十周年行事は、次の四点を企画し実行致しました。先ず歴代功労者様への記念品贈呈。会の越し方の記録と写真を多く取り入れた増刷版会報制作。広告枠も広げて本会計に出来るだけ頼らず行事費用を捻出する。メインとして会の先人への感謝とこれからの絆を願う奉納花火の打上げ。そして、想いつのる片貝町との交流を町民駅伝大会の参加で実現したいというものです。さあその結果は？



会報広告は予想以上のご協力を頂きました。協賛金においては思いもかけない多額をお寄せ頂き花火は十号十発を打ち上げることが出来ました。お天気も良く、素晴らしく感動的だったと多くの方のご評価を頂きました。

町民駅伝大会では出場三十二チーム中、第二十五位でしたが納得の結果でした。会員皆様のご支援で行事が出来ましたことをご報告致しますと共に心より感謝申し上げます。

60周年記念行事 概要

◎会報60周年記念号発行
通常4頁モノクロ印刷を倍の8頁カラー印刷にし、思い出の写真や応援いただいている皆さんからのご祝辞を掲載しました。通常号との差額を記念事業費としました。

◎功労者感謝記念品贈呈
総会で顧問の皆さんに記念品を贈呈しました。

◎煙火奉納 浅原神社
尺玉七段・尺玉三発同時打ち上げを奉納しました。

19時奉納記念の手ぬぐいを掛けた33名が社殿前に集まって木遣りを奉納し、お立ち台で打ち上げを盛り上げました。

◎片貝町民駅伝大会
11月10日、片貝町体育協会・中学校同窓会・片貝公民館が主催する第40回駅伝大会に



「東京片貝チーム」として参加
監督 芝 強、走者 ①吉田貴裕②佐藤康夫③佐藤勇介④竹原浩子⑤本田秀幸 補欠藤塚伸雄 競技委員友田啓
東京片貝会ロゴを入れたTシャツで走り、沿道の応援を受けました。

記念行事協賛者(敬称略)
令和元(4)1~10/5 37名
岩片智恵子(16)、鎌田恵美子(22)、渡辺幸子(25)、溝手俊一(26)、平アイ、佐藤祐一、松岡規子(27)、吉原武夫(28)、軍司雅子、大塚國夫、藤塚悟、小宮善興、芝満雄(31)、安達弘(33)、芝文夫、五十嵐哲郎(35)、景山佐和子(36)、田川鈴子(37)、小林和子(39)、芝強・吉田邦男、38、谷内弘(37)、相崎俊夫(40)、小林和弘(41)、安達亮一(42)、内藤富美子(43)、高野昭人、佐藤亮一(47)、松山朱実(53)、佐藤潤(55)、白石知子(60)、名塚孝雄(H1)、中島麻理子(H2)、白井佐紀子(安達竜作元会長の娘さん)、浅田精機・芝勲(片貝)

会の動き

- 理事会 5/19
- 於 東京新潟県人会館21名
- ・会報発送など
- 片貝中学校同窓会総会 6/9
- 於 総合センター 2名
- 60周年記念総会 6/30
- 於 東京グリーンパレス
- 会員 80名 来賓 50名
- 顧問に感謝記念品贈呈
- 60周年記念実行委員会 7/20
- 於 朱鷺 6名
- 片貝まつり花火奉納 9/9
- 於 浅原神社 33名
- 記念手ぬぐい配布
- 教育講演会 10/11
- 於 片貝中学校 4名
- ・講師 安達ロベルトさん
- 片貝町民駅伝大会 11/10
- 於 片貝小学校・町内



会場をぐるっと取り囲んでの木遣りで、大感激

第60回総会開催

令和元年6月30日 東京グリーンパレス

第60回東京片貝会定期総会と創立60周年記念祝賀会が来賓・ゲスト57名、会員87名の方々にご参加を頂き盛大に開催されました。

小野塚・白石両司会者の綿密な進行計画の下、式次第に従って順調に進みました。

冒頭に安達副会長から開会宣言が行われ、次に本田会長が挨拶申し上げました。その挨拶の中で、東京片貝会は



昭和35年に第1回総会を開催して以来、今回で60回目の総会になります。当会はここにおいでの方々の若々しい感じ、継続されていることは非常に素晴らしい事であると伝え致しました。

その後恒例の会計報告・会計監査報告・広報報告が行われ、さらに37年継続している母校への図書費贈呈。そして、小中学校長先生から返礼のお言葉を頂きました。

新理事紹介を終えて、総会から祝賀会に移り、芝実行委員長から創立60周年記念行事と実行委員会挨拶の中で、奉納花火へのご協賛のご協力をお願いをいたしました。

次に東京片貝会で、ご尽力された顧問の皆さんへの記念品贈呈式が大きな拍手の中で行われました。

来賓紹介は、大勢のため着席のままのご紹介とさせて頂きました。そしてJA越後おぢやの代表監事の大矢様から東京片貝会会員の皆様にお米が配られることが案内されました。

来賓を代表して教育長の松井様から、新しい小千谷病院が出来たこと、また片貝小中

学校を含めた市内の全部の小中学校の普通教室にエアコンを整備する事が出来たこと、報告がありました。また近年、片貝の子供達はスポーツで大活躍しており、個人や団体競技で目覚ましい結果が出ていることなど小千谷と片貝の状況報告を頂き、次に協議会会長の太田様から新任を含めてご挨拶を頂きました。

東京新潟県人会の小林保廣会長から感謝状をいただきました。その後、阿部元会長の乾杯で宴会が始まり、歓談の後、伝統芸能保存会公演や厄年同級会による出し物などで賑わいました。

最後に会場をぐるっと取り囲んでの「木遣り」の大合唱は片貝人たる者、大の感激でした。そして、永遠会の松井京子さんの万歳三唱を全員で

唱え、最後に芝副会長の閉会の辞で、名残惜しくも終会となりました。



顧問の皆様への記念品贈呈

【来賓出席者】(敬称略) 松井周之輔(小千谷市教育長)、大矢幹雄(片貝町協議会会長)、大矢弘光(小千谷市議会議員)、小林保廣(東京新潟県人会会長)、吉原正幸(片貝町体育協会会長)、安達文隆(片貝町商工振興会会長)、安達勇(片貝町煙火協会会長)、吉田敏明(片貝町公民館館長)、山口恒(浅原神社第一区社務長)、田村豊(片貝中学校校長)、木曾隆(片貝小学校校長)、吉原裕二(片貝中学校同窓会会長)、小野塚祐一(片貝中学校同窓会副会長)、浅田正平(片貝中学校同窓会会長)、安達隆(同窓会元会長)、吉原忠彦(片貝中学校PTA会長)、吉原芳郎(小千谷市文化財審議委員長)、黒崎哲郎(片貝町郷土誌研究会副会長)、小林光紀(浄照寺住職)、大矢保(JA越後おぢや代表監事)、根本忠(片貝医院院長)、相崎一夫(片貝町煙火協会煙火担当)、竹内はるか(日本放送協会)、佐藤勇介(地域おこし協力隊)、小宮英(双葉会会長・還暦)、他3名、野中英樹(一心会会長・50歳)、他5名、安達(ロベルト)仲幸(教育講演会講師・一心会)

大矢喜之(輝龍会会長・42歳)他2名、佐藤正美(恒友会)、吉原亨(恒友会吉原印刷代表取締役)、山賀基良(ささなみ会会長)他5名、富井ゆかり(片貝町協議会職員)、小林有香里(片貝町協議会職員)、佐藤瑞穂(晴笑会・小千谷新聞社)、小林光男(片貝町伝統芸能保存会会長)他8名

【昭和17(30卒)】 中川克子、阿部修次、神林勝夫、佐藤安治、大塚順一、長岡利夫、中村恵美子、深野敦子、大坂照子、溝手俊一、荒木ムツ、石橋行夫、佐藤祐一、松岡勝、松岡聡、吉原靖子、黒崎勝、本田正弘

【昭和31(39卒)】 本田十三雄、大塚國夫、大矢佐知子、小野塚清、黒瀬良子、小宮善興、芝満雄、藤塚悟、諸我時夫、安達弘、五十嵐哲郎、工藤イツ、熊谷正子、小宮三郎、芝文夫、高波国男、山家恵美子、小林栄三、木村隆、広沢雅子、安達信悟、大矢とらじ、鈴木子、安達信悟、大矢とらじ、鈴木敏明、小野塚和夫、芝強、吉田邦男、佐藤正志

【昭和40(卒)】 相崎俊夫、岸井久美子、安達仁、阿部清、栗原知子、小林和弘、山口光夫、安達徹、安達裕子、安達亮一、内藤富美子、藤塚弘、浅田正行、佐藤亮一、太刀川紀美子、荒川成子、深江久美子、三重堀孝雄、藤塚伸雄、徳永隆浩、徳永雅喜、松山朱実、相崎達也、安達良喜、小野塚括吉、堀井ひとみ、佐藤潤、吉田貴裕、相崎清輝、友田啓、白石知子、竹原浩子、宮田奈央子、名塚孝雄、高野昭人

【東京片貝会へご寄付】(敬称略) 阿部修次・佐藤安治(21)、友田善智・大塚順一(22)、中村恵美子・小林栄三(35)、木村隆・広沢雅子(36)、大矢とらじ・田川鈴子・寺町明美・吉原敏明・安達信悟・松井京子・本田秀幸(37)、芝強・小野塚和夫(38)、佐藤正志(39)、相崎俊夫(40)、安達徹・小林和弘・大矢佐知子(41)、安達亮一(42)、藤塚伸雄(43)、徳美子(43)、藤塚伸雄(48)、徳永隆浩(52)、松山朱実・徳永雅史(53)、安達良喜・堀井ひとみ(54)、佐藤潤(55)、砂山和之(56)、吉田貴裕(56)、相崎清輝(57)、友田啓(58)、白石知子(60)、名塚孝雄(H1)

同級会だより

若杉会(昭27卒)5月28日、29日湯沢温泉に1泊旅行を実施。今年は今迄の年に当たり、49名が参加し、夜遅くまで語りあかし、翌日散会しました。



「雪国で手塩にかけて作った”白い宝石”」

米どころ雪国おぢやでつくられた”魚沼産コシヒカリ” 清らかな水と肥沃な土地で丹精込めて作った逸品です。おいしさと安心を追求した黄金色の稲穂から精米された”白い宝石たち” その炊きあがりの艶と風味の良さは魚沼産ブランドの名にふさわしい逸品です

詳細は ⇒ JA 越後おぢや 検索 JA 越後おぢや 〒947-0031 新潟県小千谷市土川1-12-25 ☎0258-83-3425

第37回母校を励ます会教育講演会

「ノイズがアートをつくる」

安達 ロベルト氏 昭和60年卒 一心会
令和元年10月11日 片貝中学校にて

八島出身の安達さんは片貝中吹奏楽部と伝統芸能保存会のための「スプリット・オブ・Kaituma」作曲など音楽活動や、絵画、写真と幅広く活躍しているアーティストです。そんな安達さんが「ノイズって余分でただの邪魔モノだろうか？」とピアノで和音を

講演を終えて

安達ロベルトさん(抜粋)

未来ある後輩たちの前で話すという榮譽をいただき「ノイズがアートをつくる」という話をいたしました。ノイズは、音や映像だけでなく「日常のノイズ」と言われるものもあります。とかく邪魔者扱いされるノイズですが、実は、アートやひいては文化、生活の中でとても大切な役割を持っています。今、居心地の悪さを感じている人こそ、ここで話している「ノイズ」に今は当たるのかもしれないませんが、将来はきっと大切な存在になる可能性が大いに

奏でながら問いかけます。何か異質なものが混じると刺激され、最初は受け入れられなくてもやがてそんな違和感がかっこいいと五感が反応してアートの作り出されるのは、このことです。生活も学校も同じ。居心地が悪いとか反対意見だとかノ

あります。と写真や演奏を交えながら伝えました。人の話は静かに聞くようにと恐らく幼い頃より言われてきている皆さんから笑いや驚きの表情を引き出すことがチャレンジングでしたが、皆さんの澄んだ目からは何かが伝わったと感じました。心に響いたことが一つでもあったら嬉しいです。

このような貴重な機会をいただいたことに、東京片貝会の皆様、片貝町の皆様、一心会の仲間たちに感謝します。一心会の仲間たちと演奏したピアノ付き「二へん返し」はよい思い出になりました。



【母校を励ます会基金 協力者名】

(敬称略) (本年4~10月)

- 太刀川三郎(5)、阿部修次
- ・佐藤安治・神林勝夫(21)、友田善智・大塚順一(22)、中村恵美子・長岡利夫(23)、渡辺幸子(25)、高野誠春(26)、藤塚文顕・荒木ムツ・佐藤祐一・松岡規子・石橋行夫(27)、安達隆・品田紀美子・吉原武夫・吉原宏・黒崎勝(28)、吉井均(29)、安達弘之・本田十三雄(30)、熊谷満里子・軍司雅子・後藤久美子・芝満雄・小野塚清・大塚國夫・藤塚悟(31)、諸我時夫(32)、安達弘(33)、熊谷正子・五十嵐哲郎・工藤イツ・高波国男・小宮三郎(35)、景山佐和子・木村隆・広沢雅子(36)、大矢とらじ・寺町明美・吉原敏明・松井京子・本田秀幸(37)、吉田邦男・芝強・小野塚和夫(38)、谷内弘・佐藤正志(39)、岸井久美子・相崎俊夫(40)、安達徹(41)、安達亮一(42)、藤塚弘・内藤富美子(43)、高野昭人・荒川成子・佐藤亮一(47)、藤塚伸雄(48)、徳永隆浩(52)、松山朱実・相崎達也・徳永雅史(53)、安達良喜・堀井ひとみ(54)、山口昌幸・佐藤潤(55)、吉田貴裕(56)、

若え衆登場

相崎清輝(57)、友田啓(58)、白石知子(60)、名塚孝雄(61)、小椎尾ふゆか(62) 名塚孝雄 翼翔会 四之町出身 初めまして、私は大学卒業後の就職を機に上京し、以来20年ほど関東で暮らしております。実を言うと、これまでずっと関東で暮らしていながら、東京片貝会の事はほとんど知りませんでした。縁あって今年から会の活動に参加させていただくことになりました。

そんな中、大勢の会員・来賓が集まり盛大に行われた第60回記念総会に私も参加しました。そこでは今まで知らなかった色々な片貝を盛り上げる活動について知ることができたり、予想外の新たな出会いが有ったりと、とても楽しい時間を過ごさせてもらいました。

まだまだ分からないことばかりで、あまり会のお役に立ててはいないのですが、皆さん気さくな方ばかりで、入ったばかりの私の事もとても良くして下さっています。これから会の活動について、同年代を中心に広く情報を発信していきたいと考えています。

母校を励ます会へのご寄附をよろしく願います。

SHINADA-KOUKI
有限会社
品田巧機
代表取締役 品田 靖宏
小千谷市片貝町沼田前550-1
電話 0258-84-2850
https://www.shinada-kouki.co.jp

石上銘木
木のことなら何でもご相談ください
枝下し、伐採、買取、その他
石上 政俊
〒947-0101
小千谷市片貝町4710-3
0258-84-2991

SHIN SETSUBI
総合設備工事業(設計・施工・保守)
株式会社 しん 設備
代表取締役 黒崎哲郎
〒947-0101 小千谷市片貝町5048-1
tel:0258-84-3599 fax:0258-84-3799
URL http://www.shinsetsubi.co.jp

※有料企業広告を募集中※

医療法人社団 紅鶴会
片貝醫院

ふるたつとは・今

令和元年6月より
令和元年11月まで

母校近況

■小学校 福島教頭先生
【片貝町合同防災訓練・片貝防災健康ウォーク】

三回目の今年は、防災健康ウォークにおいて防災クイズを出題したり、梯子車のデモンストレーションや煙体験を取り入れたりして、より防災意識を高める取組を行いました。健康ウォークは来年度は実施せず、別の形態の防災教育を予定しています。

【片貝まつり】

今年も屋台曳き廻しにおいて六年生が音頭取りを行い、道中木遣を元気に披露しました。巫女爺クラブの披露、鼓笛パレード、両日とも今年は天気に恵まれ、予定通り実施できて良かったです。



【あいさつキャンペーン】
保・小・中学校連携で挨拶

がとびかう明るい片貝町を目指して、年間二回春と秋に取り組んでいます。秋の取組では、通学路のあちこちに地域の「あいさつし隊」ボランティアの方々から立ち上げていただき、子どもたちとあいさつを交わし、ハイタッチをしてもらいました。

【もみのキッズ学びランド】

十一月二日、全学年が生活科や社会科・音楽・総合的な学習などで学んだことを保護者・地域の方に発表しました。巫女爺クラブの発表では、特訓してきた品玉も披露されました。六年生は「佐藤佐平治」の劇で迫真の演技でした。

■中学校 相田教頭先生

本年度から夏の大会は、市内大会がなくなり、全種目中越大会からのスタートとなりました。どの種目も上位進出を果たす中、特にバスケットボール部・バレーボール部がアベック優勝を果たしました。さらに、バスケットボール部は県ベスト8、バレーボール部は県3位で北信越大会出場を果たしました。相撲では、浅田晃誠さんが北信越大会軽量級で優勝、黒崎碧琉さ

んが全中大会出場と大活躍でした。ローラースキーでは、藤塚美礼さん、小堺陽日さんが全国規模の大会で活躍しました。



秋の新人大会では、野球部・バレーボール部が優勝するなど、新チームも頑張っています。

本年度も、東京片貝会教育講演会を開催していただきました。安達ロベルト様を講師として、アートや日常を例に、異質なものが混じるよさを教えていただきました。大変ありがとうございました。

和のつくり

■「和好会」米寿に集う

片貝中第1回卒業生・和好会（小宮房夫会長）は、5/15に米寿を祝う記念祝賀会をホテルニューオータニ長岡で開催、町内外から21人が出席

した。発起人の吉原潔さん（二之町）は開催直前の今年4月に病のため他界したが、当日は吉原さんの席も用意され、開催の約束を果たした。

■片貝レディース初挑戦

片貝レディース（相崎三津子代表）は、全国選抜ゲートボール大会（6/1・2）に新潟県代表として出場。リーグ戦は1勝2敗で惜しくも決勝トーナメント進出を逃した。

片貝スポーツセンターが老朽化で2年ほど前から使用禁止となる中、現在は浅原神社や片貝総合センター付近にあるゲートボール場等で週3日程度練習。メンバーは大西良子、市川きみ子、小宮富子、黒崎綾子、相崎三津子、藤塚厚子（敬称略）

■片貝「祭る」10周年

佐藤佐平治の遺徳を伝える「祭る」が、6/22に片貝ふれあい公園で開催された。10周年の今回は、歴代のオープンングを飾った絵師・山口佳祐氏によるライブ・ペイントが、樹齢200年を超すという樺の周囲に立ち並んだ。

また、忍字亭内では佐藤家関連の資料展が開催された。今回展示された資料は県内外の親戚から寄せられたが、その中に佐藤家の酒造りに関する新資料や秋山郷との関係を見た。

裏付ける明治末期の古文書が見つかった。

■町内対抗親善ゴルフ大会

第23回小千谷市町内対抗親善ゴルフ大会が6/30、7/1の両日開催された。競技はスクラッチの部とペリアの部でそれぞれ団体戦と個人戦が行われ、団体戦ペリア（小千谷市長杯）は片貝四尺玉チーム（相崎悟、安達直人、佐藤江里子、遠藤隆平、佐藤貴浩）が獲得した。個人戦ペリアの部は相崎悟さん（グロス87）が優勝した。

■国際親善空手道大会

茶畑に本部を置く光武会（小林光紀会長）が主管する国際親善空手道大会が7/7に小千谷市内で開催された。イギリス、ドイツ、ノルウェー、カナダ、スリランカなどから選手、指導者、審判員などが多数参加し、形と組手の両部門に250人の選手が熱戦を繰り広げた。

■片貝伝統芸能保存会、大役を果たす

7/16の国民文化祭・いわたの開会式で、天皇皇后陛下がご覧になる中で片貝伝統芸能保存会が前唄・道中木遣りを披露。「おけさ」の演奏に合わせて、各町内の提灯を手にした歌い手が「玉送り」のように客席エリアを練り歩いた。

天皇陛下ご即位を祝う植樹
天皇陛下ご即位を祝う記念植樹（片貝水と緑を守る会主催）が10/23に片貝小6年生31人が参加して片貝ふれあい公園で行われた。

■市展で片貝から多数入選

今年の市展には6部門に347点が出展され、審査の結果、片貝から多数の入選者が出た。

- 《日本画》▽市長賞・相崎重明（四之町）《洋画・版画》▽佳作・松田紀子（一之町）
- 《写真》▽奨励賞・黒崎敏夫（茶畑）▽佳作・神林繁行（一之町）
- 《工芸・彫刻》▽市長賞・高橋裕子（四之町）▽奨励賞・吉原美智子（一之町）▽佳作・水尾久子（一之町）

訃報

- ▼安達和三様（昭21・立志会）東京片貝会40周年記念名簿の作成に尽力された
- ▼南波謙一様（昭21・立志会）初代同窓会長であり、片貝町の福祉にも貢献された
- ▼鯉島昭雄様（昭29・仲友会）東京片貝会の会計幹事を歴任された

■あとがき

会も60周年の大きな節目を無事に迎えられました。会員各位に感謝申し上げます。良い新年をお迎え下さい。（小林・徳永・安達・相崎）